

政党助成法の廃止を求める署名

衆議院議長 殿

<第3次>

参議院議長 殿

【請願趣旨】

政党は、国民に政策を提示し、国民から経済的・政治的・精神的支援を得て、その政策を実現するために活動する団体であり、自己の政策を実現するために必要となる自主・自立性を確保するためには、その活動資金は広く国民から受けることが必須条件となります。

しかし、今日、日本共産党以外の各政党は、その活動資金の大部分を政党助成金に依拠しております。

政党助成金は、政党を国家に依存させ、政党と国民の関係を希薄にし、民主主義を形骸化させる原因となります。

また、政党助成金は、今日、年間約320億円にものぼり、希望する政党に配分されておりますが、政党助成金の受給条件を満たすために、理念も政策も投げ捨て、有権者不在の離合集散を繰り返す政党も出現し、政党の墮落を招く結果をも生み出しております。

国民の税金が自己の支持しない政党に配分されるという政党助成金の制度は、国民の「思想・良心の自由」や「政党支持の自由」（憲法第十九条）を侵害する違憲の制度となります。

なお、財政悪化を理由にして、社会保障の削減などが国民に対して行われたにもかかわらず、政党に対しては巨額の税金が依然として配分されていることに、国民は政治不信を感じざるを得ません。

民主政治の発展のために、以上の趣旨を踏まえて、次のことを求めます。

【請願項目】

1、政党助成法を廃止すること

氏名	住所

*上記個人情報は国会への請願以外には使用いたしません。

《婦人民主クラブ》

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-2-8-303

Tel 03-3478-2317 Fax 03-3478-2318